

豊かで 住みよい 町づくり

上勝

Vol.

89

議会だより

2023.5.1 発行



2P 第2回定例会 補正予算

3P 一般会計当初予算・特別会計当初予算

4P 審議案件と議決結果

5P 主な質疑・討論

7P 議長活動報告

8P 一般質問

6名が町政について質問

14P 勝名地区町村議会議員研修会

15P 議員研修報告書

16P 総務常任委員会による学校訪問

17P 産業建設常任委員会

18P まちのようす

令和5年度 一般会計当初予算

総額 **30億2,600万円** 質疑の結果、
全員異議なく可決

主な事業

前年度より1億7,500万円(6.1%)の増額

- 森林基盤整備事業費 1億2,544万円
- 地方創生道整備推進交付金事業費 1億450万円
- 上勝町福川防災コミュニティ施設(仮称)整備事業 8,684万円
- 地域おこし協力隊関連事業費 5,819万円
- 社会資本整備総合交付金事業費 5,000万円
- 自治体情報システム強靱化サーバ等リプレース業務 2,300万円

当初予算の様子を家計に例えてみました

収入

収入の種類	収入(円)	構成比(%)	令和3年度の歳入
年収	245,683	6.0	町税
預金取崩し	1,027,775	25.1	繰入金
雑収入 (パート収入等)	184,263	4.5	分担金・負担金・ 使用料・手数料・ 財産収入・寄附金・ 諸収入
前の年の節約	16,379	0.4	繰越金
親からの援助	1,490,479	36.4	地方交付税
	233,399	5.7	国庫支出金
	307,104	7.5	県支出金
	106,463	2.6	地方譲与税
	20,474	0.5	地方消費税 交付金
	4,095	0.1	その他の交付金
新しいローン	458,609	11.2	町債
計	4,094,723	100.0	

支出

支出の種類	支出(円)	構成比(%)	令和3年度の歳出
ローンの返済	528,219	12.9	公債費
家の購入・改築 車の購入など	782,092	19.1	普通建設事業費 災害復旧費
衣食費	712,482	17.4	人件費
自治会費・交際費 同好会費など	417,662	10.2	補助費等
子どもへの仕送り	286,631	7.0	繰出金
電気・水道・ 消耗品など	847,608	20.7	物件費
教育費・医療費	323,483	7.9	扶助費
預金	135,126	3.3	積立金
家、車などの修繕費	49,137	1.2	維持補修費
生命・損害保険 など	4,095	0.1	投資及び出資金・ 貸付金
急な支出に備えて 準備	8,188	0.2	予備費
計	4,094,723	100.0	

年収の額は、令和5年度上勝町一般会計当初予算額を町世帯数で割り算したものの。

R5年度一般会計当初予算額 30億2,600万円
世帯数(R5.4.1時点) 739世帯
年収の額 4,094,723円

令和5年度 特別会計当初予算

総額 **8億482万円** 質疑の結果、
全員異議なく可決

- 国民健康保険(事業勘定) 2億800万円
- 介護保険 3億5,500万円
- 国民健康保険(診療施設勘定) 1億2,567万円
- 国民健康保険(福原診療施設勘定) 2,024万円
- 簡易水道事業 4,150万円
- 奨学資金 214万円
- 後期高齢者医療 4,876万円
- 高鉾財産区 350万円

(上記各会計:千円単位切捨て記載)

令和4年度 一般会計補正予算 (補正第5号)

第2回
定例会

開 会 期
会 会 10日
令 和 5年3月8日
和 5年3月17日
閉 会 日

補正額(追加) **4,933万円**

総額 **35億3,835万円**

増額の主なもの

- 総務 集落再生事業費
持続可能な美しいまちづくり基金積立金 1,179万円
- 農林 国土調査事業費
地籍調査業務委託料 7,257万円

減額の主なもの

- 総務 ふるさと創生人材育成事業費
地域活性化補助金 △718万円
地域おこし協力隊事業費
業務委託料 △919万円
- 農林 農業振興費
新規就農者育成総合対策事業補助金 △850万円
農山漁村未来創造事業補助金 △1,034万円

国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(補正第4号)

補正額(追加)

4万円

総額

2億1,059万円

- 主なもの
・ 総務 一般管理費
国保総合システム改修業務委託料 △141万円
- ・ 給付 一般被保険者高額療養費
高額療養費支給額 150万円

令和5年 第1回上勝町議会臨時会 審議案件と議決結果

(第1日) 令和5年1月20日(金)

○:賛成 ×:反対 一:議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質 疑	討 論	結 果	前田敏宏	高石雅弘	田中 寛	日下一茂	岡本 明	星場真人	明本恵一	酒井直美
議案第1号	工事変更請負契約の締結について (令和3年度町単独藤川寺内住宅新築工事)	有	有	原案可決	○	×	○	○	○	○	×	—

令和5年 第2回上勝町議会定例会 審議案件と議決結果

(第3日) 令和5年3月17日(金)

○:賛成 ×:反対 一:議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質 疑	討 論	結 果	前田敏宏	高石雅弘	田中 寛	日下一茂	岡本 明	星場真人	明本恵一	酒井直美
議案第2号	上勝町個人情報保護法施行条例の制定について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	上勝町個人情報保護審査会条例の制定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	督促手数料廃止に伴う関係条例の整備に関する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第6号	上勝町の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	上勝町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第8号	定年前に退職する意思を有する職員の募集及び認定に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号	上勝町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号	上勝町公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第11号	上勝町月ヶ谷温泉交流施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号	上勝町単独住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	令和4年度上勝町一般会計補正予算(補正第5号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号	令和4年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(補正第4号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第15号	令和5年度上勝町一般会計予算について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第16号	令和5年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第17号	令和5年度上勝町介護保険特別会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第18号	令和5年度上勝町国民健康保険(診療施設勘定)特別会計予算について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第19号	令和5年度上勝町国民健康保険(福原診療施設勘定)特別会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第20号	令和5年度上勝町簡易水道事業特別会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第21号	令和5年度上勝町奨学資金特別会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第22号	令和5年度上勝町後期高齢者医療特別会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号	令和5年度上勝町高鉾財産区特別会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第24号	工事請負契約の締結について(令和4年度町単独野尻住宅新築工事)	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第28号	上勝町副町長の選任につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第25号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第26号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	無	無	原案推薦可	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第27号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	無	無	原案推薦可	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第1号	上勝町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	退席	—
発議第2号	上勝町議会基本条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
—	委員会の閉会中の継続調査について			承認	○	○	○	○	○	○	○	—
—	寄附の申し立てについて			報告								—

主な質疑・討論

第1回上勝町議会臨時会

議案第1号 工事変更請負契約の締結について(令和3年度町単独藤川寺内住宅新築工事)

問 明本議員
前回否決になったときの金額に変更はあるか。

答 中原参事兼建設課長
12月議会で提出した金額と変わっていない。

問 明本議員
水路の管理はどこがするのか。
答 中原参事兼建設課長
住宅の裏側にある水路については、住宅の中で管理をしていくようになると思う。

問 明本議員
元のフェンス設計では入居者の子供等に対する危険防止が主であるが、それについてはどう考えるか。

答 中原参事兼建設課長
水路は30センチほどで特に危

険というふうな状態でない。隣の民地との間に石積みをしてるので、特段フェンスを設ける必要はないと判断をした。

問 高石議員
一番最初の設計は、端から端までフェンスがあった。安全のためにあるフェンスを取り外した理由は何か。

答 中原参事兼建設課長
隣の民地間に石積みをして施工したこと、特に危険ではないと町の判断で取りやめた。

問 高石議員
最初の設計書通りのフェンスと、今回提案しているフェンスとどちらが安全と考えるか。

答 中原参事兼建設課長
当然(最初の設計書通り)全部囲んでおけば、子供、人は行き来はできない状態である。向こう側へ行ってけがをするというのではないと思う。しかし、水路の管理、空間的にも広々できる等、総合的に判断した。

問 田中議員
用水路に水利権は発生していないのか。

答 花本町長
元は農地なので、元の所有者が権利を持っていたなら、当然継承されていると考えている。

問 田中議員
水利権が町に帰属するのなら、危険等を回避するため、入居者の要望によって、水路を遮断することは可能か。

答 中原参事兼建設課長
地域の方、隣地の方等の意向を確認しながら対応する。

問 星場議員
非常に大きな水路と考えるが、大きくした理由は何か。いっぱい水が流れると非常に危険な状態になると思うがどうか。

答 中原参事兼建設課長
水路は30センチが標準ということで今回施工した。今後は状況をみて、水量の対応をしたい。

問 日下議員
用水にゴミが詰まれば取れるように、ドアでもつけられませんか。

答 花本町長
今回作るフェンスより上流に、すのこをつけることにより、外へ回る必要はなくなる。

問 前田議員
住宅より上の町道に横断側溝がある。そこで水を止めたらどうか。

答 中原参事兼建設課長
周辺の方の意見も聞きながら対応したい。

討論

反対 明本議員
危険性の点で、最初の設計の通り、通してフェンスを作るのが良い。また、キッチンも、最初の設計の通りで少しも悪いことがない。

賛成 岡本議員
フェンスがなくなることは危険かもしれないが、親の責任も関わってくる。しかし、きれいな水にすぐ手が届く等、いろいろな面で自然と触れ合うにはいいと考える。

反対 高石議員
最初に設計してあったフェンスはすばらしいかと思う。それをあえて、危険度が高まる方向に設計変更をして、費用の減

額分を中津住宅(もくさんが建設)の増額分に充当するのは非常に問題。

賛成 田中議員
安全性の問題からは河川方面に転落防止措置や排水溝への転落防止措置など安全性を確保した上で実施することが必要。また、用水については、入居者の方の希望を聞いて、小さな子供がいて用水路が危険であれば遮断又は水量を制限する措置をとることも必要。よりよい住宅を建築してもらいたい。

賛成 日下議員
あれだけの水を流さないのであれば、フェンスはなくても大丈夫と思う。しかし、ある程度の凶面は見せるべきだと思う。

賛成 星場議員
現場で町長が説明したとおり、隣地との間のフェンスを取っ払い、安全性を確保するため川側のフェンスをしっかり設置するのであれば、それでいいと考える。

賛成 前田議員
安全措置は必要であるが、フェンスがあっても子供が這い上がることもあるし、完璧ではない。そのことから、隣地との間については設置する必要は無いと考える。

第2回上勝町議会定例会

議案第2号 上勝町個人情報保護法施行条例の制定について

問 明本議員
保護すべき個人情報とはどのようなものか。

答 井本参事兼総務課長
林地台帳や農地台帳、森林台帳、財務会計システム、選挙人名簿、住民基本台帳等が個人の情報である。

問 明本議員
列記したものを配付してもらいたい。

答 井本参事兼総務課長
個人情報の取扱事務の名称の例を挙げたが、令和5年4月1日にホームページに公表することになっている。

議案第18号 令和5年度上勝町国民健康保険(診療施設勘定)特別会計予算について

問 田中議員
診療所に、超音波画像診断装置等の備品を購入するが、従来あった旧装置を売却するの。

答 久保診療所事務長
現在ある機器については使用は可能であるが、修理部品がないため定期保守ができない状態となっていることから、売却せず、業者に引き取ってもらう予定。

議案第15号 令和5年度上勝町一般会計予算について

問 明本議員
インターネット接続システム強化延長機器保守に104万8,000円の計上があるが、どんなことをするのか。

答 井本参事兼総務課長
電算室の機器・サブセンターの機器の更新である。

問 高石議員
一般廃棄物中間処理補助業の委託料を増額した理由は。

答 吉積企画環境課長
中間処理を一括委託することにもなう人員増に対する人件費525万円増額。

問 明本議員
地方創生推進事業費委託料の彩山維持管理業務は、エンドレ

スにするのか。
答 吉積企画環境課長
毎年度計上するように考えている。

問 田中議員
本町のゴミ処理費は、一般財源2,575万6,000円であるが、他市町村に比べて安いのか。

答 吉積企画環境課長
環境省の一般廃棄物処理実態調査(令和2年度分)によると上勝町は1人当たり5,134円、佐那河内村9,186円、勝浦町1万7,513円となっている。

発議第1号 上勝町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

提案者 田中議員

この度、個人情報保護法等の3本の法律が統合され、地方公共団体の個人情報保護制度についても統合後の法律に全国的な共通ルールとして規定された。しかし、議会においては、国会等と同様に、自律的な対応のもと個人情報の適切な取り扱いが図られることが望ましいとし

発議第2号 上勝町議会基本条例の一部を改正する条例

提案者 田中議員

上勝町議会基本条例第16条は、同条例を議会運営における最高規範であって、議会は、この条例に違反する議会の条例、規程、規程等を制定しないとしている。しかし、議会には、一般的に条例の成立に向けた議決権はあるが、制定権はなく、また、規則についても、議会議規則等の法に定められたものを除き、地方公共団体の長に制定権があり、条文としての正確性の欠けるものも考える。よって、日本国憲法、地方自治法等との整合性を確保するため改正を提案する。

活動報告

議長 酒井直美



今回は、徳島県町村議会議長の紹介をします。
この組織は、県内16町村各議会議長により構成されている。主な活動内容としては、
。年次総会
。自治功労者、町村議会表彰
。徳島県への要望書のまとめ
。県市町村の3団体合同要望として、国への要望提出
。全国町村議会議長会大会及び研修会開催
。四国地区町村議会議長会大会及び研修会開催
。その他
である。その中で、去る2月28日に開催された第26回定期総会の様子をお知らせします。



小野会長より挨拶があり、酒井副会長が宣言(案)を朗読し、全会一致で承認された。

事業計画、一般会計歳入歳出予算は、事前の役員会で承認を得ているため、書面報告のみされ、井上副会長より決議(案)が朗読され、全会一致で承認された。

続いて、各都地区提出の県への要望事項が紹介された。勝名地区から
。県道徳島上那賀線の整備促進について
。主要地方道勝浦佐那河内線・小松島佐那河内線の早期整備について
。地籍調査の推進について

一、鳥獣被害防止対策の充実と強化について
一、中山間地域の農業にかかる支援の充実等について
等が、要望事項として提案され、宣言文・決議文と合わせ知事に渡された。町民のみならず県に要望・陳情等があれば、お近くの議員に相談してみてください。
次に、令和4年度自治功労者・町議会の表彰が行われた。

議長として
7年以上在職者 1名
議員として
27年以上在職者 9名
議員として
15年以上在職者 12名
町村議会表彰は、牟岐町議会が、
。議員定数の削減
。行政常任委員会での監視機能強化
。議会広報づく
り・HP等住民



への広報活動等々が評価され表彰された。ちなみに、上勝町は、H26に議会基本条例の制度。一問一答方式の採用等で表彰を受けている。町村議会広報表彰は、勝浦町議会が、第37回広報全国コンクールで優良賞を受けたことによる表彰。



これらの表彰式を終え、総会を閉じることになりました。
その後、副知事・県議会議長・町村会長を混じえ、意見交換が活発に行われ、酒井副会長の挨拶で締められた。





田中 寛 議員

問 南海トラフ地震に備え、東地区簡易水道の改修は

建設課長 喫緊の課題として取り組む

問 上勝町地域防災計画において防災訓練は、住民や関係機関と協働して実施することとなっているが、現状はどうか。

答 中原参事兼建設課長 東地区は、供用後約50年が経過し、喫緊の課題として取り組む。ただ改修に当たり、新たな土地の買収や工事方法等について調整が必要。南海トラフ地震等に備え、下水道管の埋設ルート等の改修に向けた事業計画は作成している。

問 南海トラフ地震の発生が迫る中、老朽化した東地区簡易水道の改修（耐震化）の事業計画はあるのか。

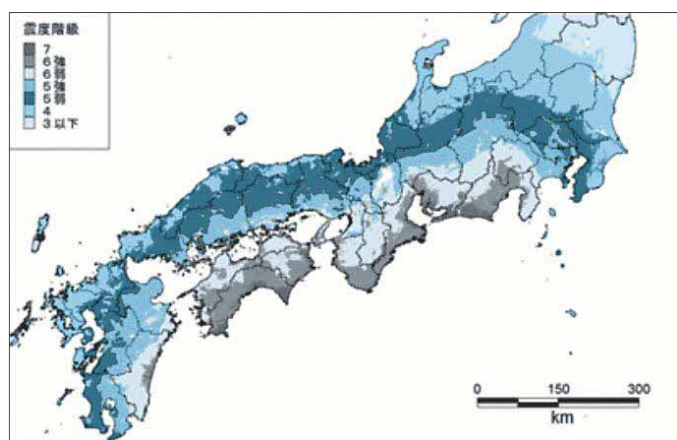
答 吉積企画環境課長 町内の道路案内板は建設課、観光案内板等は産業課、1Q活動や集落再生事業関連は地元地域が設置しており今後において

防災対策について

問 南海トラフ地震の発生が危惧される中、住民の命を守るため、住民や町職員、関係機関を巻き込んだ実効性のある訓練を実施すべきと考えるが

答 井本参事兼総務課長 コロナ前には、毎年9月に消防団を対象に彩公園で、震度6弱から6強の巨大地震の発生を想定し、各分団管轄内の被災状況調査や住民の安否確認情報調査、山林火災を想定した2線延長の放水訓練等を実施した。

南海トラフ地震 震度の最大値の分布図



国土交通白書(2020)より

問 災害対策基本法において、町は防災の第1次の命を守る責務がある。町民や関係機関が協力してくれるならやるという

答 井本参事兼総務課長 今後、住民等から協力いただけるようであれば取り組みたい。また、住民の防災意識の温度差もあるため、地域の方々に意見、協力をいただきながら進めていく。

如何か。

地方公共団体の事務の共同処理について

答 花本町長 一部の業務については既に連携しているが、地域性や歴史、人口差など

問 自治体間の共通した課題や各種委員会の事務うち、他の自治体と統合可能な業務について共同処理すれば、事務の合理化や人材の有効活用に繋がると考えるが如何か

答 立川教育長 市町村間の事務統合は、小規模自治体においては有効な手段と考える。ただ、先進町村である相模東部広域連合教育委員会に研究を行ったが、本町の実態を考えると、学校教育、社会教育の取組の違いから、現時点では難しい問題があると感じている。

要望 東日本大震災等から年月がたち、喉元過ぎれば熱さ忘れるでは、災害時に住民の命は守れない。自然災害の発生は止められないが、災害から命を守る準備はできる。危機感をもって、やるべきことはやるべき。

答 井本参事兼総務課長 実施する方向で検討したい。

問 他人事感覚では、住民の命は守れない。町が主導し、その責任により実施すべきでは。

要望 本町のように小規模の自治体にとっては、財政基盤の強化と人材・経費の有効活用からも、事務の統合は必要と考える。できるものから積極的に検討してほしい。



星場 真人 議員

問 町内独自の道路案内板を作成しては！

企画環境課長 地域の知恵で解決したい

問 本町は全国的に有名な「1Q運動会」等の活動成果が各地に残り、その代表格が「アート作品」と「地域案内壁画」だが、アート作品は順次、取り壊すと聞いている。

一方、地域案内壁画等は、年月を経てくすみが出てきた。手入れが遅れたのも原因だが、責任の所在が不明なことも課題だ。1Q活動が止まった事で、町づくりの全てが止まったと感じる住民も多い。どう立て直すか。

も管理をお願いしたい。

要望 壁画は塗り替えたが、再び補修が必要。1Q活動は地域の課題を自ら考え行動する組織であるが、行政と住民が共に考える地域づくりは必要であり、共に課題解決に取り組んでもらいたい。



くすみが出てきたが目を引く壁画！

問 本町から子供を高校生へ通学させるにはバス通学しかないが、本町では挙家離村で人口が減少し

後継者の進学の推奨について

答 倍示教委事務局長 他町にない本町だけの助成を挙げれば、入学祝金を小・中学校それぞれ10万円。小・中学校に無料の公営塾、小・中・高・学生の町営バス無料制度等がある。

また、町全体の子育て支援は、お誕生祝金が第1子10万円、第2子20万円、第3子30万円。他町の例だと3万円、5万円、10万円だ。更に、子供育み医療が18歳まで完全無料、それから18歳以下の短期海外留学生等に40万円補助等もある。更に、後継者確保や移住施策の面から見ると、児童転入支度金を1世帯30万円をはじめ、各課も様々な事業を展開している。

ている。隣町は通学バスを運行していたが、今年から全ての高校生を対象に年間10万円の補助支給に切り替えたとか。本町の方策としてどう取り組むか。

問 「お前が始めたんでないか！」と、よく言われるので恐縮だが、住民の皆様には、本当に頑張つて戴き感謝している。全国一の分別は住民の輝かしい称号でも、角度を変えれば「住みにくい町」かも知れない。そこで最終の部分だけでも行政が責任を持って取り組んで欲しい。

ゴミ処理の簡素化について

答 花本町長 重ねてになるが、ゼロ歳児から18歳までの間に、いろんな助成を行っており、こうしたことの積み上げが子育てをしやすい環境の一助になっていると考えて戴けたら、それが全体につながって行く。

問 進学に関しては教育委員会に委ねるところが大きい。後継者育成の観点ではどう捉えているか。



分別は住民負担で成立している！

答 吉積企画環境課長 新しい宣言では、ゼロ・ウェイストで暮らしを豊かにすることを目標に掲げ、住民の負担軽減も含めていく。

昨年12月に大阪の廃棄物処理業者の(株)浜田とパートナーシップ協定を締結し、現在の収集・分別方法や処理方法を確認、排出方法等を検証していく。また、ご指摘の通り、焼却・埋立てゴミの資源化を進めてきたが、カーボンニュートラル、二酸化炭素の排出という視点も併せて、よりエコで負担の少ない、当町に最適なゴミ処理方法を選択したいと考えている。



日下一茂 議員

問 軽自動車タイプの救急車の購入予定は

住民課 現在、発注しており、3月末に納車予定だ

軽自動車タイプの救急車について

問 軽の救急車の購入予定はいつ頃になるのか。

答 清井住民課長 現在、発注しており、



軽自動車タイプ救急車

答 井本参事兼総務課長 町内には2カ所設置されている。

問 3月末頃に納車予定だ。現在の救急車と車検は当然重ならないようにはしてあるのか。

答 清井住民課長 車検は、一カ月前からできるので重ならないと思う。

防犯カメラについて

問 町内の公共施設に、防犯カメラは付いているのか。

答 福原貸事務所の入居予定はあるのか。

福原貸事務所について

要望 上勝町が治安が悪いというのでは無く、もし事件があった時、防犯カメラが活躍すると思う。防犯カメラを設置してもらいたい。



福原貸事務所内

問 防音設備は付いていないところが多いのか。

答 菅尾産業課長 遮音は建築基準法に基づき施工している。ただ、構造が木造で、室内壁は木材を使用し排煙機能として格子型の窓を設け、火災時の煙を室外に出す構造になっている為、声等が外に漏れる。

要望 1日でも早く満室を願う。

問 各部屋に防音設備は付いているのか。

答 菅尾産業課長 現在入居予定はない。問い合わせは2月に1件現地確認があった。

問 一社のみ事務所ではないので防音設備は必要ではないのか。

答 菅尾産業課長 防音設備は普通の住宅ではあまりないが音を遮る構造にはなっている。

答 花本町長 構造上、完全に遮音とは難しい。部屋に防音装置を完全に付けて、内部の音が出ないようにするのは難しい。



明本恵一 議員

問 お年寄りの町営バス利用料は

住民課 お出かけタクシー券が使えるよう検討する

高齢者の町営バスの無料化は

問 町営バス無料化のため、ポランティアタクシー券を使えるようにしてはどうか。

答 清井住民課長 お出かけタクシー券を



かみかつ町営バス県道にて (2023.4.10)

答 清井住民課長 県会で請願が可決された。動向を注視したい。

パートナーシップ制を導入は

町営バスで利用できる利便性が向上するので業者にも意見を聞いて検討する。

給食費を無償化は

問 諸物価高騰のため、子育て・教育のため支出がかさむ。学校給食費の無料化を早急に実施して貰いたい。どうか。

答 傍示教育委員会事務局長 勝浦町は10月から3月までコロナ臨時交付金で無償化した。学校給食はサービスであり、利用料を払うのが合理的である。

問 時代錯誤の考え方だ。義務教育の一環として、昼食の無料化を実施していくべきだ。

答 立川教育長 義務教育無償化は教科書とかが無償となっている。給食費は補助があるが、原材料とかが、そうい

在町の高校生に通学補助を

問 在町の高校生に通学費補助金を月2万円程度支給すべきではないか。

答 傍示教育委員会事務局長 勝浦町から乗り継ぎで小松島市まで定期券で月1万5千200円だ。下宿している人もあり不公平になる。

テレビだけ世帯に月600円の補助金を

問 共同事業者勝浦町に合わせて、月600円程度補助すべきではないか。

答 傍示教育委員会事務局長 アパートや寮に入ってから余計にかかっている人もあり、不公平感がでると考える。

クリーンエネルギーの開発は

問 再生可能エネルギーの開発は、今年度はどう進めるのか。スケジュールを明確に示せ。

答 吉積企画環境課長 清井製材跡地に小水力発電所を検討しているが、用地の買い取り価格を検討中だ。費用対効果を検討し、赤字見込みで無ければ、今年中に補正予算を計上したい。

令和4年度 上勝町議会議員研修報告書

上勝町議会は、令和5年2月6日・7日の1泊2日で東京豊洲市場の視察等の研修を行い、知識及び見識の向上に努めました。

1 1日目（2月6日）

ホテルJALシティ東京豊洲一階研修室で、新潟県立大学准教授 田口一博氏により、議会からの情報発信や令和4年地方自治法改正などについて講話を受けました。

2 2日目（2月7日）

(1) 東京中央卸売市場豊洲市場を視察し、青果卸売会社である東京シティ青果(株)の担当者による説明や場内視察を行いました。

ア 施設概要

豊洲市場は、2018年に築地市場から移転開場し、面積は約40.7haで築地の1.7倍であり、その内青果棟は約12.8haで、青果卸売場が1.35ha、青果仲卸売場が約1.5haと日本最大の施設であり、設備面においても、青果物の鮮度と品質を保つため完全閉鎖型で、館内は年中を通して20度前後に定温管理されるなど、最先端の市場でした。

イ 市場担当者との意見交換

担当者からは、上勝のいどり等について、この分野での中心的かつ重要な産地であり、将来的にはさらに重要度は増すことから、商品の安定的な供給と、品質の維持が必要。また、ネームバリュー戦略として上勝産というだけで安心感と信頼を与えるようなイメージを醸成するため、購入者側の立場に立った商品の出荷が求められるなど、様々な意見の交換を行いました。

(2) 都市ガスに関する研修施設である、ガスの科学館「がすてなーに」を視察し、ガスの役割、特性等を研修しました。



勝名地区町村議会議員研修会の実施について

上勝町議会は、令和5年2月20日（月曜日）に佐那河内村役場で行われた、勝名地区（上勝、勝浦、佐那河内、神山、石井）町村議会議員の研修会に参加し、昨年3月新庁舎となった同村役場庁舎・消防センターを視察するとともに、議員研修として、四国大学 経営情報学部教授 本田利広氏による講演を受講しました。

講演においては、地方議会改革と政策形成機能の強化「議会改革は何を目指すのか」と題して、議員の情報発信や、行政監視機能及び政策立案能力の必要性等、議会運営において重要な事項について研修しました。



多目的スペース



役場事務室



消防センター



ヘリポート

令和5年3月29日(木)に、産業建設常任委員会で、上勝空き家再生等促進事業に関する移住定住促進住宅整備(西本邸改修工事)事業の進捗状況の確認のため、現地視察を行いました。



参加者

議 会	委員長	高石雅弘
	副委員長	日下一茂
	委 員	明本恵一
	委 員	星場真人
	事務局長	多田光利
執行機関 (関係者)	企画環境課長	吉積弘成
	企画環境係長	横田正和
	工事請負者	多田鉄工所

各委員からの質問に対する回答は、次の通りです。

(税込:円)

《調査項目》	委員質疑	当局回答
1	入札か随意契約か	・指名入札(設計監理・請負工事発注とも)
2	ほか聴き取り調査項目(以下のとおり) 請負工事 入札日 請負工事 契約日 請負工事 予算額	R 4. 11. 8 R 4. 11. 11 財源 国費 社会資本整備総合交付金 7,200,000 県費 800,000 町債 空き家再生等促進事業 7,100,000 単費 2,553,900 計 17,653,900
	設計額(各工事)	建築・電気工事 8,996,900 管工事 4,305,400
	工事着工日	R 4. 11. 12
3	請負業者はどこか	創和建築設計
4	設計費と監理費と各工事費はいくらか(実績) 設計業者はどこか 監理業者はどこか	設計業務 創和建築設計 1,584,000 工事監理業務 同上 977,900 建築・電気工事 9,625,000 管工事 5,467,000 計 17,653,900
5	設計の図面を見せて欲しい	(当日現地にて配布のとおり)
6	建坪は 建坪単価は	22.23坪 (73.35㎡) 794,245

各委員4名の感想

- 高石委員 今回、1,765万円の予算での空き家住宅改築の状況を視察した。家賃5万円で、10年間住んでいただける方がいるかどうか重要である。今後、費用対効果等も検討していかなければいけない。
- 日下委員 住民から、「公共施設の工事が非常に高い」という声が多いなか、今回の視察で、本当に高いと感じた。いろいろな面で、計画が必要であると考えます。
- 明本委員 空き家活用は良い企画と思う。ロケーションもよく、早く借り手がつけば良いが、1,765万円は掛けすぎではないか。家賃が高くなり過ぎはしないか。借り手が、間仕切りなど好みに応じて、自由に出来るようにするのも、良くはなかったか。
- 星場委員 第一印象としては、入居者がいるかな？我々は住み良さを近代化に求めて来たが、都会人は「人間らしさ」を求めており、自然の生活が高級なんだとの思いを知らされました。



上勝町議会総務常任委員会による 学校訪問について

上勝町議会総務常任委員会では、GIGAスクール構想に伴う学習実施状況等について視察しました。

- 1 視察日 令和5年2月28日(火)
- 2 視察先 上勝中学校 上勝小学校
- 3 調査事項 GIGAスクール構想に伴う学習の実施状況等について
- 4 視察者等 委員長 田中 寛 副委員長 前田 敏宏
委員 岡本 明 委員 酒井直美
教育長 立川 信彦 議会事務局長 多田 光利



5 視察状況

文部科学省のGIGAスクール構想により、学校のICT環境を整えるため、児童・生徒1人に1台の端末(タブレット)と高速通信ネットワークが一体的に整備されました。

これにより、特別な支援を必要とする子供を含め、全ての子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するとされています。

上勝小学校、中学校ともに、これを積極的に活用した授業を取り入れているとともに、上勝のゼロウェイストや地場産業などの地域学習にも有効に活用されていました。

また、上勝小学校では、スーパー徳島GXスクールにも指定され、ゼロウェイストに係る環境学習の活動取組発表を行うなど、子供たちが積極的かつ活発に学習に取り組んでいる様子が見られ、生徒数は少ないながら、子供たちの将来には大いに期待ができるものと確信しました。

子供は町の宝物です。今後とも、すべての町民の皆様が温かく見守っていただけるようよろしくお願いいたします。



上勝中学校卒業式



藤川南岡彩公園



上勝小学校卒業証書授与式



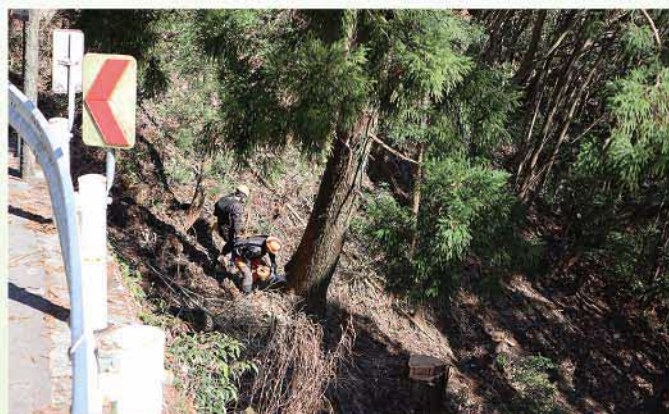
(傍示)



芝桜(八重地)



(生実)



(日浦)

編集後記

春の光に包まれて、上勝の自然が躍動し、心高ぶる季節となりました。田畑の準備も始まり、草刈りに追われる日々が続きます。農機具による事故も増えています。取り扱いには充分注意し、熱中症対策も万全に。

令和5年度上勝町一般会計予算をはじめ、各予算が議会で承認され、新年度がスタートしました。議会としても、実行性を注視しながら、町内の活性化に力を注いでまいります。

(酒井)

